

湘南学園だより

SHONAN GAKUEN
121
2014.9.29
DAYORI

発行：湘南学園だより編集部



contents

湘南学園で培う「人間力」
第四回全学教研開かれる
集団生活の第一歩

湘南学園小学校を「学び」の発信地に
おいしいカフェテリアのお弁当
小学校に誕生した大型遊具

ユネスコスクール加盟にこめられた願い
「早大生と行く！ポーランド（アウシュビッツ）リトアニア歴史ツアー」をめぐって

松ぼっくり募金最終報告書
学校法人からのご報告

湘南学園理事長
湘南学園学園長
もも組学年主任
小学校校長
小学校総務主任
小学校生活指導主任
中学校高等学校校長
中高企画主任

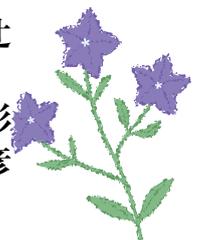
辻 彰彦 01
仲本正夫 02
白井智子 03
榎本勝己 04
富田靖子 04
中許竜宏 05
山田明彦 06
吉川謙太郎 07
08
12

表紙写真：「PTAからの贈り物」

湘南学園で培う

「人間力」

理事長 辻 彰彦



これからの社会で
求められていく「人間力」

昭和8年に地域の住民が子ども
の為に小学校と幼稚園を設立
し、自由で、個性を尊重する人
格教育を目指したのが湘南学園
です。

建学の精神は、江の島や湘南
海岸から程近くにあり、遠く富
士、丹沢、伊豆の山々が望め、
伊豆大島も眺められる恵まれた
自然環境と、創立以来子どもた
ちを明るく育てようとする教養
と気品のある父母・教職員に恵
まれた人的な環境から、生まれ
た精神でもあると記録されてお
ります。

子どもたちには、すばらしい
個性や才能があります。それら
を発見し、その個性を伸ばし、
子どもたちにとって必要なこと
を必要な時期に習得させてあげ
るといふことに、学校の存在価
値があると考えます。湘南学園
では、そうした「人間力」の育成
を重視し、幼稚園、小学校、中
学校そして高等学校のそれぞれ
のステージで、日々、教育に取
り組んでおります。

今日の変化の激しい社会にあ
って、これからの子どもたちに
必要となる「人間力」とはどのよ
うなものなのでしょう。それ
は、いかに社会が変化しよう
と、自分で課題を見付け、自ら
学び、自ら考え、主体的に判断
し、行動し、よりよく問題を解
決する資質や能力であり、ま
た、自らを律しつつ、他人とと
もに協調し、他人を思いやる心
や感動する心などを備えた、豊
かな人間性であると考えます。

それは、紙の上だけの知識で
はなく、生きていくための「知
恵」とも言うべきものであり、
我々の文化や社会についての知
識を基礎にしつつ、社会生活に
おいて実際に活かされるもので

なければ成りません。

また、「人間力」は、理性的な判断力や合理的な精神だけでなく、もっと柔らかな感性を含むもので、美しいものや自然に感動する心、よい行いに感銘し正義や公正さを重んじる心、生命を大切にし人権を尊重する基本的な倫理観、優しさや他人を思いやる心、相手の立場になって考えたり共感することのできる温かい心、ボランティアなど社会貢献の精神も、「人間力」を形成する大切な側面であると思います。

さらに、今後国際化がますます進展し、国際的な相互依存関係が一層深まっていく中で、子どもたちにしつかりと「人間力」をはぐくむためには、世界から信頼される、「国際社会に生きる日本人」を育てるということや、過去から受け継がれてきた我が国の文化や伝統を尊重する態度を育成していくことが、これまでにも増して重要になってくると考えます。

子どもたちに体験活動の機会を

そのためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要だと感じております。子どもたちは、具体的な体験や事物との

かわりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ？どうして？」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいくものです。そして、そこで得た知識や考え方を基に、人生の様々な課題に取り組むことを通じて、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるとです。このように、体験は、子どもたちの成長の糧であり、「人間力」をはぐくむ基盤となっているのではないのでしょうか。

しかしながら、今日、子どもたちは、直接体験が不足しているのが現状であり、子どもたちに対して生活体験や自然体験などの体験活動の機会を豊にすることは極めて重要な課題となっていると言わなければなりません。こうした体験活動は、湘南学園での教育においても重視していくことはもちろんですが、ご家庭や地域社会での活動を通じてなされることが本来自然の姿であり、かつ効果的であることから、是非、子どもたちの体験活動の機会を積極的ににつくって頂ければ幸に存じます。

第4回全学教研開かれる

幼と中高、小と中高のコラボ型の実践報告が登場

学園長 仲本正夫

全学教研は、湘南学園の教育を創造する重要な営みです。

「今年度の全学教研は、中高横山先生を実行委員長として幼小中高六名の実行委員会が企画運営、八月二十九日、「わかること

の可能性―」わかった！できた！のよるこびを引き出す教育実践―」をテーマに、幼小中高の教員九四名が参加し、午前は中高ホールで全体会を開き、三

本の実践報告①②③を全員で共有、午後は中高教室で前半三つ、後半三つ④⑤⑥の分科会が開かれ、参加者は、前半と、後半からひとつの分科会に参加できる仕組みでした。

今年の新しい特徴は、パートの垣根を越えた総合学園らしい共同、コラボ型と名付けること

のできる楽しい実践報告がいくつも生まれたことです。第一は、幼稚園の先生たちと中高坂元先生のコラボによる高校二年生の家庭科実習をとりあげた報告①。

緊張しながら高校二年生を迎

え入れていく園児たちの様子と初めとまどいながら幼い園児を相手にしていく高校二年生の姿や感想が双方向から紹介されました。

第二は、小学校一年の担任団と中高音楽担当の田中優希先生のコラボによる「いただきますの歌を合唱する実践。小学校ホールで子どもたちは田中先生が得意の打楽器を鳴らしながらの指導に、一年生全員が三種類の打楽器を鳴らしながら、楽しそうに合唱していく様子を報告②。

第三は、小学校六年の担任団と中高横山先生のコラボで六年生を相手に行った「鉄の船がなぜ浮かぶのか？」というサイエンスショーの報告④。

三つの発表では、いずれもその様子がスクリーンでリアルに紹介されました。横山先生は、授業レベルのパート間の交流をもっともっと広げたいと、教研への強い期待を語っています。

また、これらの報告以外にも、中高からの「ESDカレンダー」を使っている総合学習と教科のつながりを構想する報告③等もありました。レポート一覧をご参照ください。

レポート名一覧

実践報告① 「一緒に遊ぼう―高2保育実習で輝く園児と生徒―」

実践報告② 「いただきますってどんな意味？―歌を通した食育の試み―」

実践報告③ 「教科横断でわかる可能性は広がるか―ESDカレンダー―で見える授業と総合学習・研修旅行とのつながり―」

実践報告④ 「わかったが見えるサイエンスショー―授業レベルのパート間の交流を拡げる―」

実践報告⑤ 「学びの森―ビデオテープ作りと活用―」

実践報告⑥ 「総合学習・情報の共有―中学学級担任の苦悩とよるこび―」



集団生活の第一歩

幼稚園 もも組(年少組)

学年主任 白井智子

〈初めての幼稚園〉

四月、六十人の子も達が、もも組として、初めての幼稚園生活をスタートしました。

「幼稚園という新しい環境の中で、親から離れて先生やお友達と過ごす」ということが、大人にとっては、ごく当たり前のことのように感じることでしょう。しかし、子ども達の小さな胸は、幼稚園への期待よりも、不安や戸惑いでいっぱいです。

今までのように一緒に過ごしてきた、大好きなお母さんと離れることが寂しくて、「ママと一緒に・・・」と繋いだ手をギュッと握りしめている子、お母さんに抱きついて泣き始める子、笑顔で入室し玩具であそんでいたかと思うと、急に「ママがいない」と泣き出す子・・・朝の一場面でも色々な子どもの姿が見られます。また、室内に入る時には上履きに履き替える事、沢山ある下駄箱やロッカー、タオル掛けの中から、自分の場所を見つけて身支度をする事、数ある蛇口やトイレの中から、自分

でひとつの場所を選んで手を洗

ったり排泄をする事など・・・子どもにとって幼稚園は、今まで過ごしてきた家庭生活とは大きく異なります。こうした集団生活という環境の中で、緊張や不安がある事は、ごく当たり前のことです。そういった子ども達の姿を受けて、一日でも早く安心して園生活を送れるように、私達保育者が大切に行っている事があります。それは、一人ひとりの気持ちに寄り添い、受け止めることです。



緊張していたり、涙を流している子に対して、ギュッと抱きしめたり、手を握ったり、背中をなでながら、目と目を合わせてゆっくり優しく語りかけることで、子ども達の気持ちが少しずつ落ち着いていきます。ま

た、その子の好きなあそびや興味のある事を、一緒に楽しみながら、スキンシップを図り、心の緊張をほぐすことで子ども達と心の距離を縮められるように関わっていきます。

時には、保護者の方の協力を頂きながら、お母様に幼稚園と一緒に過ごしていただく時間も作っています。大好きなお母様が近くにいることで安心して、その存在を感じながら、少しずつ自分のあそびを見つげたり、保育者と過ごす時間が増えていく中で、保育者が安心できる存在になっていきます。無理強いして母子を引き離すのではなく、その子が自分で「もう大丈夫」「ママ、行ってきます!」と保護者の方から離れて、自分で歩みだす力を信じ、大切にしています。

〈先生と一緒に!〉

この時期の子も達は、隣りで友達があそんでいても、子ども同士の関わりはほとんど見られません。友達と一緒に、というよりも、一人ひとりが個々の興味あるあそびをじっくり楽しむ時期だからです。また、家庭でお母さんと一対一であそぶときのように、「先生と私(僕)」という関わりが、子ども達にとっては自然で安心できるので

す。友達より、まずは保育者とのやりとりの中で、信頼関係を築いていきます。



例えば、おままごで作った料理を先生に手渡す。「ありがとう!」と保育者が美味しく口に食べると、嬉しそうに何度も繰り返して、お皿いっぱいのお皿を持ってくる・・・私達は、そんなやりとりを一緒に楽しみながら、子ども達と目と目を合わせ話をしたり、名前を呼んだり、笑いあったり・・・子ども達と、楽しさを共感しながら、心と心がギュッと結ばれる瞬間を大切にしています。

降園前には、「幼稚園って楽しいな」「また明日も幼稚園に行きたいな」と子ども達が次の日を楽しみに感じられるように、クラスみんなで歌ったり踊

ったり、絵本を見たり、一人ひとりを抱っこしたり、触れ合う時間を作っています。これも、私達が毎日大切に、心がけていることです。

一学期、このように安心感を土台に過ごしてきた子ども達は、徐々にままごと・砂あそび・電車あそびなど、自分で好きなあそびを見つけ、心ゆくまで楽しむ姿が見られます。自分で使った玩具を元の場所に片付けたり、近くにいる友達と笑い合ったり、会話を交わす姿から、大きな成長を感じます。

その時々の子の不安・戸惑い・楽しさ・嬉しさなど・・・保育者は、どんな些細な事でも共感し、子ども達にとって、楽しく安心できる存在でありたいと思います。

一学期、幼稚園生活での初めの一歩を踏み出した年少組の子も達が、二学期どんな姿を見せ、どんな心の成長が見られるのか、楽しみです。



湘南学園小学校を

「学び」の発信地に



小学校校長 榎本勝己

2014年4月より、小学校校長として赴任いたしました榎本勝己と申します。「漸く」1

学期終業式そして夏休みという時期までたどり着いたというのが率直な感想です。80年の歴史と伝統をもち、幼少中高を併せ持つ総合学園としての「湘南学園」の発信は、幼稚園と小学校からとお聞きしました。ここ

鶴沼在任の有識者の方々が、高い理想教育実現にむけて、1930年代という国内外世情困難なか、まさにグローバルな視点から献身的に全人教育を進めるため、有形無形の貢献をされてこられたからこそ、今日の湘南学園が存立すると理解

しております。教育の理想を実現することは、世界理解・世界平和なくして実現しないことを深いところで前提とされていたのでしよう。その意味では、これまでPTAはもとより、同窓会、後援会の皆様方の湘南学園

教育活動に対する深い理解と多大なるご支援が大きなバックアップとなったことは言をまちません。私も「チーム湘南学園」

の一員として、学園の発展のために、微力を尽くしたいと考えています。

現在、私がいままで培ってきた中高大の一貫・接続に係った教育研究を視野におきつつ、幼少そして小中の接続・一貫教育のあり方とそこにおける教育課程編成に基づくその体系性と

継承性を、関係する先生方と協力しながら検討し創りあげていきたいと考えています。併行して中期の教育計画（建学の精神、教育目標、重点目標、組織運営、教科・生活・進路・自主活動、国際交流、安全・保健管理、保護者・卒業生・地域との連携など）の立案も協同して進めます。

最後に、この1学期のなかでの印象深く感じたことの1つは、子どもたちが朝いっばいにグラウンドに広がる「遊び」の輪です。登校後すぐさま体操着に着替え、思う存分に「遊び」を

繰り返して、終わると授業に臨むという流れは、遊び・考え・学ぶというサイクルを通じて、学びのプロセスをしっかりとふんで

おいしい

カフェテリアのお弁当



小学校 富田靖子



いるように思えます。湘南学園小学校に行くのが大好き！といってくる子どもたちの姿を見て、改めてより豊かな学びの空間の形成にむけて小学校の教育環境の充実を教職員と共に図って行こうと考えています。

昨年十一月にオープンしたカフェテリアでは、毎日中高生に向けて、手作りの安心・安全なおいしい食事が提供されています。ぜひこの素晴らしい食事を小学生にも味わってもらいたいということ、三月の中高定期テスト期間には、小学生がカフェテリアを利用して唐揚げ定食をいただく機会を持つことができました。子どもたちの感想は、「おいしい。」「もっとカフェテリアのご飯が食べたい。」「というものがかりでした。」

そこで、カフェテリアの営業が軌道に乗り始めた三月下旬から、湘南食育ラボの皆様と、小学生へのお弁当配食の具体的検討を開始しました。メニュー、カロリー、分量、価格、お弁当箱、注文・支払い方法、引き渡し・回収方法などについて検討を重ね、急ピッチで準備作業を進めていただきました。

四月末には小学生保護者の皆様にご協力いただき、「カフェテリアからのお弁当配食についてのアンケート」を回収し、六月四日には小学校教員を対象に

したお弁当試食を実施しています。続いて「予約方法」と「登録」についてのお知らせを配布して、お弁当の注文を開始しました。

そして六月十七日、待ちに待ったカフェテリアからの小学生に向けたお弁当の配食が始まったのです。短期間で配食を実現することができたのは、ラボの皆様のご尽力によるものと、深く感謝しております。六月中は二年生ごとのローテーションでしたが、七月からは全学年を対象を広げ、本格的な運用に切り替わっています。

さて、各教室を回って子どもたちに感想を聞くと、どの子ども満面の笑みを浮かべて「おいしいー」の一言です。

お弁当の注文は配食日の五営業日前、キャンセルは二営業日前まで可能です。ぜひ多くの小学生に利用していただきたいと思えます。





PTAからの贈り物

子ども達の夢と希望を乗せて



「大型遊具」の誕生

小学校 生活指導主任 中許竜宏

まず初めに、PTAの皆様の
おかげで、素晴らしい遊具が完
成しました。この場を借りてお
礼申し上げます。

ら、子ども達は日々充実した時
間を過ごしています。

その中で、まだ未完成のもの
が一つだけあります。「大型遊
具」です。以前あった遊具は、
おにごっこをしたり、秘密基地

のように色々なものを拾って持
ち寄りたり、子ども達にとって

遊びの中心場所でした。それ
が、現在は、小学校グラウンド

に上り棒と鉄棒が設置されてい
るだけです。PTAの皆様から

改築のお祝いに遊具を贈りたい
とありがたいお話を頂いていま

したが、設置には至っていま
せんでした。

今年度、生活指導主任として

「遊具設置」の担当となり、引
き継ぎも含めて精一杯、設置に

向けてやってきました。そこで
感じたことは、「それぞれの思

い」がたくさん詰まっている
ということでした。PTAの方

々々、教員、業者、子ども達、
みんな目指す方向は同じでも、

設置に向けて、様々な調整が必
要でした。それは簡単なもので

はありませんでした。子ども達

からは、二〇一三年度『児童会
総会』の場で、学校へ「大型遊
具が欲しい」という 要望をも
らいました。学校としても小学
校グラウンドに設置を予定して
いましたので、「遊具を作る」
と返答したものの、緑地面積や
設置場所について、問題が生じ
ていました。その問題を少しで
も早く解決していくため、今年
度に入ると、これまで以上に遊
具業者と打ち合わせを行いま
した。

《遊具のコンセプト》

湘南学園小学校は、湘南の風
が吹き抜ける学校です。そのイ
メージを最大限に活かしながら、
ワクワクするような遊具を
作ってもらいました。コンセ
プトは、『ツリーハウスのある島
から出港し、くじらのいる海を
進んでいく船の冒険』です。ツ
リーハウスにはネットで登った
り、くねくねとしたスネイクク
ライマーを登ったりして上がり
ます。そこから船に飛び乗り、
大海原に大冒険していくので
す。船には滑り台があり、大海
原に下り立ちます。そこには、
大きな目をした愛らしいくじら
が悠々と泳いでいます。

《設置への道のり》

問題も発生しました。湘南学
園らしいコンセプトのもと業者
から出た企画案はとても魅力的
なものでした。しかし、試案し
たそのままの形で小学校グラウ
ンドに設置するわけにはいきま
せんでした。それは、現在、植
えられているケヤキの木をどう
するか。体育の授業との兼ね
合いをどうするか、様々
な内容が課題として
出てきました。ま
た、遊具の設置
については安全
基準が厳しく、
必ず安全領域を
確保しなくては
いけません。どのよう
にすれば、遊具のコンセプトを崩
さずに、遊具を設置できるか。
子ども達の授業や学校生活を一
番に考えることが必要でした。
そこから業者との試行錯誤が始
まりました。限られた条件の中
で、すべてを網羅できるほど単
純ではありません。ギリギリの
選択をしなくてはいけませんで
した。すべては子ども達のた
め。どのような条件でも、子ど
も達にとって良い方向を考えて
いきました。土木業者にも参加
してもらい、実地確認を何度も
行い、最終的な結論を出しまし
た。

今回、遊具の設置に向けて多
くの時間を費やし検討してきま

したが、その時間は決して無駄
ではなく、「ものづくり」の本
質を見た気がします。理想と情
熱を持ち、子ども達の喜ぶ顔を
思い浮かべながらものづくりに
取り組んでいくからこそ、「本
物」ができるのではないかと感
じています。

二〇一四年九月。

また新たな遊具が小学校
に完成しました。

『湘南学園船小学校号』は絆を
深め大海原に出港します。子ど
も達の夢と希望を乗せて、輝く
未来へ出港していきます。



ユネスコスクール

加盟にこめられた願い

中高校長 山田明彦



湘南学園中高は、昨年12月に「ユネスコスクール」への加盟を実現しました。今回はその意義やねらいについてお伝えいたします。

ユネスコの掲げた理想

「ユネスコ」は、第二次世界大戦が終わった直後に、世界で共有された「不戦の誓い」を土台に設立されました。教育・科学・文化情報等の分野を通じて、平和の構築と貧困の削減、持続可能な開発、異文化間の対話に貢献することを任務とする、国際連合の専門機関です。

その前文には、人類史上で最多の犠牲者を出した大戦への反省から深い決意が述べられています。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」との二節は有名です。同じ人間なのに相互の生活や風習を知らず、疑惑と不信、無知と偏見を広げた事実を受けて、同胞としての理解と援助を広げ、人間の尊厳への理解を深める教育を進めよう、人類の知的で精神的な連帯を築いて永続的な平和を確保していこ

うと提起しました。地上のすべての人達に十分な教育の機会が保証され、思想や知識が自由に交換されることが重視されました。

そこから約70年が経過しました。いま21世紀はかつて想像もつかなかったような情報化やグローバル化が進展する一方、国際社会や日本をめぐる厳しい現実には私達は直面しています。近隣諸国との外交関係の確執や繰り返される諸民族の対立、グローバル経済をめぐる激しい競争の歪みなど、次世代を担う若い人びとに対して先行世代として責任を感じる現実もあります。

ユネスコスクールとその目標

ユネスコスクールは、その理想を実現し、国際的な平和と連携、交流を学校教育を通じて促進することを目的として、1953年に設立されました。公式サイトでは2014年4月現在、加盟校は180か国にまたがる約9600校、日本では705校にまで仲間を広げています。

ユネスコスクールは現在、グローバル時代にふさわしい目標を掲

げています。「地球規模の様々な問題に対して、次世代の若者が対処していけるような新しい教育内容や教育方法の開発や発展を目指す」、「新しいネットワークを活用して世界中の学校と生徒間教員間の交流を促し、情報や体験を分かち合う」という綱領を掲げ、後述する「ESD」の推進拠点として期待されています。

その連携を通じて、国連やユネスコの掲げた平和と協力の理念を共有し直し、未来に責任を持つ教育内容の改革や充実を追究しようとしているのです。

ユネスコスクールは、幼・小・中高大まで広くまたがり、国内委員会に報告書を毎年提出します。加盟校の活動情報を提供し合ったり、直接交流できる機会を探れることもメリットです。HPを通じて情報交換を行い、ワークショップや研修会で出会って学び合うこともできます。ユネスコが提案する教材が送られたり、関係団体が行う様々なイベントに参加する機会にも恵まれます。

ESDを追究する

学園中高の教育

近年では、深刻化する地球環境問題への危機感を第に、「持続可能な地球社会を築かねばならない」との課題意識や、この観点

から教育の統合を図ろうという意志が世界に広まりました。ここでは「ESD(持続可能な開発のための教育)」という共通の教育の旗が掲げられ、日本でも文部科学省や環境省がこのESDを先導するようになりました。



中1 車椅子体験学習

東日本大震災を経て、日本国内ではユネスコスクール加盟校が更に増加しました。たとえば宮城県泉仙沼市は、震災前から全市をあげて公立校が加盟しており、大震災後の取り組みを強めているそうです。神奈川県は首都圏でも加盟校が少ない現状で、本校は申請の準備を急ぎました。昨年いっぱい時間がかかりましたが、日本ユネスコ国内委員会を経由し、パリのユネスコ本部で申請が承認され、認定証を送って頂いた次第です。

湘南学園中高は、「社会の進歩に貢献する、明朗で実力ある人間を育てる」ことを教育目標に掲げています。その実現のためにこれまで20年以上、中1から高3までの一貫教育を通じて、本格的な総合学習を進めてき

ました。特に社会に生きる様々な人びとに出会い、そこから直接に学ぶ機会を大事にしてきました。これまでの総合学習の取り組みを検証し、指導プログラムの改良や調整を更に進めます。そして他の様々な教育実践をも含めて「ESD」の観点から統合し、学園教育のミッションを実現していきたいと願っています。ユネスコスクールの認定はその有効な契機となるものです。

本校は現代教育に求められる国際的なミッションを自覚し、ESD推進の潮流にも加わり、学園らしさを生かした教育目標の実現をはかっています。在校生の皆さんには、将来より良い社会の実現に寄与する生き方を目指してもらいたいのです。学園中高の教育について、様々な分野の教育活動をより有機的に結びつけた見通しのあらゆる全体像を構築しようと、いま検討や協議を進めているところです。



高2 NGO訪問

「早大生と行く！ポーランド（アウシュビッツ）」

リトアニアヒストリーツアー」をめぐって

中高企画主任 吉川謙太郎

「学園だより」が発行される
ときには、このツアーの記念す
べき第1回目が終了して1ヶ月
程たっていますが、この原稿を
書いているのは、出発の1ヶ月
程前です。ここでは、このツア
ーのことを中心に記していきま
いと思います。

このツアーは、8月18日から
28日にかけて（9泊11日）、ポ
ーランド（クラクフ・アウシュ
ビッツ・ワルシャワ）とリトア
ニア（カウナス・ドルスキニン
カイ・ピリニウス）を訪問する
ものです。今回は、5名の高校
生が参加します。

第二次世界大戦中、リトアニ
アのカウナスに赴任されていた
外交官・杉原千畝氏（1900
〜86）が、ナチス・ドイツの迫
害から逃れてきたユダヤ人に、
外務省の指示に背くかたちで
日本通過ビザ等を発行し、約
6000人の命を救ったという
出来事がありました。

戦後、外務省を退官すること

になった杉原氏は、鶴沼に住ま
われ、そのご子息は、湘南学園
に通われたという縁がありま
す。鶴沼時代の杉原氏は、ビザ
発給のことについては多くを語
らなかつたようですが、「外交
官としてはなく人間として当
然の正しい決断をした」という
彼が残した言葉は、彼が在学し
た早稲田大学にある顕彰碑にも
刻まれています。

ツアー名に「早大生と行
く！」とあるのは、早稲田大学
の公認サークルである「千畝ブ
リッジングプロジェクト」の大
学生が、現地で常時行動を共に
してくださるからです。杉原氏
の行動に感動して、それを広く
知らしめようとする、少し年上
の彼らの熱情に触れることも、
高校生にとっては刺激になるこ
とでしょう。

アウシュビッツ強制収容所跡
にも訪問し、日本人ガイドの中
谷剛氏の協力を得て、じっくり
と見学をします。ここは、人間

が人間の尊厳を見失い、他者へ
の想像力をもたなくなつたと
き、人間はどこまでのことをな
してしまふのか・・・それが
最悪のかたちで現れたことを象
徴する場であると思います。

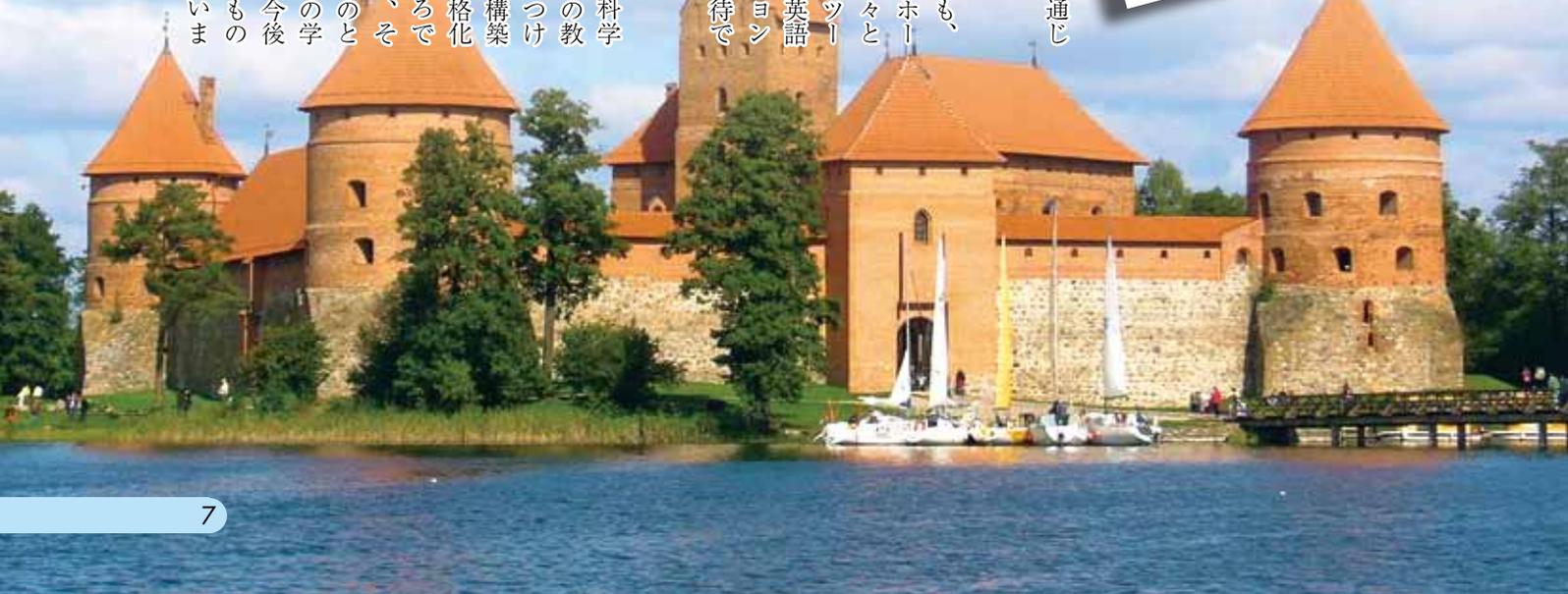
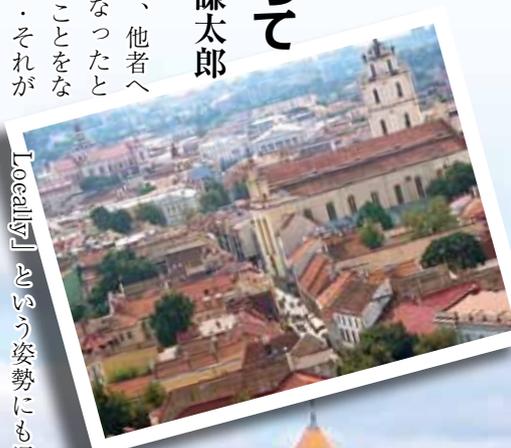
ユネスコスクールである湘南
学園中高が推進すべきESDの
根底には、「命に対するまなざ
し」があります。アウシュビツ
ツ訪問は、命や人間について、
根源的に思いをめぐらせる機会
になるでしょう。高校生のうち
に、そのような経験をするこ
とに、極めて有意義なものにな
ると思います。「人間として当然
の正しい決断」ができる素地が
つくられることを期待していま
す。

このツアーは、ユネスコ憲章
にある「戦争は人の心の中で生
れるものであるから、人の心
の中に平和のとりでを築かな
ければならない」という有名
な言葉に象徴される理念にも
合致するといえるでしょう。
また「Think Globally」 Act

「Locality」という姿勢にも通じ
るものもあると思います。

ポーランドもリトアニアも、
基本的に英語が通じます。ポー
ムステイなどで、現地の方々と
英語をコミュニケーションツ
ールとして触れあうことで、英語
学習についてのモチベーション
が向上することも大いに期待で
きると思います。

いま、中高では、「教科学
習」「総合学習」等、学校の教
育活動全体を効果的に結びつけ
て、「湘南学園ESD」を構築
していこうという動きを本格化
させようとしているところ
です。実は、このツアーは、そ
のようなことも意識したものど
なっています。事前と事後の学
習をしっかりとおこない、今後
の学びにきちんとつながるもの
になっていけばと願っています。



創立80周年記念

「松ぼっくり募金」の終了について

【松ぼっくり募金報告】

湘南学園創立80周年記念「松ぼっくり募金」につきましては、各位の格別のご尽力を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。

去る二〇二一年一月より開始いたしました同募金も、お陰様をもちまして、総額八千四百五十二万九千五百七十一円に達するご寄付を賜ることができました。

以下、最終報告として、二〇二四年三月三十一日までに寄付を賜りました方々全員を改めてご紹介させていただきます。なお掲載は、個人団体・法人名のみ50音順とし、敬称は省略させていただきます。

【特別寄付

(教育振興基金等)

森 稔
関家 憲一
中川陽一郎
山下耕平
平尾昌晃
尾高惇忠

【一般寄付

(80周年記念館建設資金)

◆個人

相田恵美子・相原秀昭・相原未来
青木一雄・青木香那子・青木斉子
青木光裕・青木泰雄・青木佳朗
青野一郎・青柳真帆・青山貴志
青山 恒・赤井 格・赤井絵理
赤井和憲・赤井祥子・赤井保信
赤坂 一・赤星福子・秋田岳志
秋田 敏・秋葉裕之・秋元健司
秋元光太郎・秋元大祐・秋元博之
秋元良太・秋山弘太郎・秋山 淳
秋山千草・暁山昌幸・秋山満宣
明場英幸・浅井美智子・浅香俊二
浅黄克哉・朝倉康之・朝倉倭文子
朝倉 實・浅田順一・朝田一紀
浅田初江・浅沼 利・浅利幸江
安嶋明日香・アジマスカ・東 忠幸
愛宕奈津美・安達昌史・網頭秀夫
穴山雄一・穴山洋一・阿部隆一
甘粕幸人・甘糟早苗・天沼照夫
天野 仁・天野寛美・雨宮信之
綾野鈴子・新井健太・新井澄子
荒井義典・荒木伸浩・荒木田伸子
荒木千賀子・荒 喜孝・有蘭和子
有村早織・粟村雄一・安斎 隆
安斎直孝・安斎直彦・安西洋幸
安藤敏行・安藤雄二・安陽太郎
飯島隆史・飯島典光・井出 孝
飯田一雅・飯田智一・飯田義隆
飯塚高司・飯塚たみ枝・飯森好充
飯山禮文・猪谷俊裕・五十嵐竹虎
五十嵐 修・五十嵐由佳子・五十嵐竜太郎
五十嵐礼恩・猪狩光希・井川悟史
井川としこ・生田 信・池上 聡
池仁 浩・池田謙二郎・池田道雄
池田祐司・池田明紀・池田朋子
池谷寿奈子・池田雅明・池田政克
池永 寛・池村祐一・伊佐 寛
伊澤和洋・伊澤善夫・井澤裕之
伊澤佳久平・石井 収・石井一雄
石井克幸・石井孝雄・石井孝子
石井千恵・石井信彰・石井宏武
石井文一郎・石井康子・石井利香
石岡照康・石垣文緒・石神久嗣
石神 恵・石川智啓・石川樹一
石川夏帆・石川楓子・石川康雄
石川吉彦・石倉英治・石沢直孝
石島忠章・石田公男・石田秀樹
石田 勝・石田 稔・石田由貴彦
石橋明彦・石橋洋子・石原宏尚



<松ぼっくり募金内訳>

	件数	金額(円)
募金総額	1732	84,529,571
特別寄付	6	32,500,000
一般寄付	1727	52,029,571
同窓会	677	15,374,190
後援会	49	1,968,000
PTA	804	20,585,567
教職員	90	3,323,777
法人関係	45	3,205,000
その他	62	7,573,037

石原幸夫・井島 宏・石丸正弥
石本晋介・石渡利光・石渡義和
石渡亘俊・泉 真一・井関琢哉
イモリシマ・磯崎光男・五十畑潤一
磯部博樹・板橋紀明・市岡真由美
市川寿美江・市川秀樹・市川廣司
一ノ木 裕・市原 秀・一色敏彦
井出吉彦・伊藤勝弘・伊東邦子
伊藤恵三・伊藤慶太・伊藤紗玖良
伊藤静美・伊藤眞哉・伊藤たか子
伊藤 亨・伊藤敏雄・伊藤秀明
伊藤 等・伊藤 誠・伊東 誠
伊藤正宏・伊藤 学・伊東道夫
稲川あや・稲葉和氣子・稲永朝彦
井上康一・井上志磨子・井上輝彦
井上俊哉・井上正明・井上正樹
井上政憲・井上祐貴彦・井上義朗
井上良子・伊野和也・猪木基広
猪熊清彦・猪爪 優・猪俣雅生
井原康秀・伊吹 学・伊吹 龍
今井榮継・今井 豊・今里佳奈
今村京子・今村好一・入澤 章
伊禮滝正・岩井雅司・岩井耀一郎
岩井佳子・岩尾健太郎・岩尾純一
岩崎希名・岩崎行恒・岩崎祐之
岩沢典子・岩田和子・岩田 淳
岩田大輔・岩田 保・岩田富貴子
岩田悠暉・岩波常昌・岩野 睦
岩渕里咲・岩元哲也・上杉瑠璃
植田卓真・植田治久・上田正巳
植田祐次・上野徹平・上原由起夫
植松英世・魚津靖太郎・宇佐原康精
氏家英男・牛込公一郎・牛込雅子
後久佳洋・白井 章・白井加名子

宇田隆悦・内島 仁・内田修司
 内島孝俊・内村裕二・内山伊史
 内山 勝・梅木浩朗・梅津 薫
 梅宮茂良・梅屋和人・羽毛田裕
 浦田智禎・浦田仁司・浦田雛子
 浦田稔子・江上尚良・江口恵子
 江口千恵子・江黒正敏・江頭宏亮
 榎本勝己・榎本トミ・榎本 理
 海老澤健次・海老澤正雄・海老原 新
 江利川幸弘・遠藤光衛・遠藤洗一
 遠藤晶土・遠藤征吾・大石暢彦
 大井友子・大岩慎治・大内 明
 大内康行・大木康一・大木康子
 大久保泉・大久保裕児・大久保理子
 大越 保・大澤隆史・大島幸雄
 大島康治・大島智晃・大島 浩
 大島真奈子・大島満春・大島洋一
 大島義則・オオカキヒ・大高基子
 大竹弘子・大塚美樹・大寺秀男
 大伴直子・大貫純子・大貫 透
 大貫文詠・大沼 智・大野圭介
 大橋伸次・大場 純・大橋堯夫
 大原健一・大平英子・大平 亮
 大村太郎・大森恵蔵・大森信久
 大森正輝・大森祐亮・大山秀徳
 大脇英司・大脇玲子・岡江 輝
 岡崎秀晃・岡田尚志・緒方哲也
 岡田正人・岡田泰子・岡戸和彦
 岡野幹樹・岡 晴美・岡部快居
 岡部知花・岡部知憲・岡部 稔
 岡部佳依・岡 美恵・岡村和彦
 岡本 淳・小川達也・小川喜由
 小川和恵・小川 博・小木曾洋三
 沖 直弘・奥嶋 勇・奥貫督司
 奥野浩一・奥村卓司・奥村英之
 小倉和宏・奥脇秀樹・尾崎賢三
 長田郁夫・長内康男・小澤幸喜
 小澤明彦・小澤敏弘・小澤春美
 小澤由花・押本正彦・小田英司
 小田修敬・尾高惇忠・小田口 健
 小田 慧・小田拓也・小田 正
 落合佳宏・鬼澤美知子・尾上信久
 尾上良平・小野大祐・小野田政弘
 小野 誠・オノサミ・尾畑 洋
 小畑幸子・小幡径行・小幡友紀子
 オハイチロウ・小原万宗・小原美佐江
 尾原美和・尾日向暁・小俣紗英
 小俣尚斗・小俣柗人・生山郁男
 小山田暁・織田康弘・織田よしこ
 海津千鶴子・甲斐智博・加賀美公一
 角田 俊・角田和司・郭山貴代
 寛 元則・梯 琴乃・影山 環
 鹿兒島 豊・笠島哲夫・梶山雅章
 柏木賢志・柏木榮三郎・柏木雄介
 梶原幹夫・春日井邦彦・春日雅人
 数野通丈・片岡弘道・片桐雅二
 片多貴子・片山紀花・片寄真司
 勝田 誠・勝間志保人・勝又敬子
 加藤 明・加藤勝久・加藤太一
 加藤達雄・加藤千鶴子・加藤次克
 加藤 照・加藤信明・加藤はつ子
 加藤正樹・加藤雅之・加藤 實
 加藤龍一・加藤 怜・カドタカヒト
 門田義広・門脇道比古・金井一正
 金井藤雄・金枝上英明・金澤昭雄
 金澤基彦・金子 晋・金田勝俊
 金田洋佳・金安晃裕・金指義機
 狩野晃治・鎌田利彦・鎌田 淳
 神谷晴久・神守 茜・上村裕介
 神山恵子・亀川利雄・亀川登志子
 加茂哲哉・加茂正幸・菊宿貴志
 狩野伊太郎・川井登喜子・川岸正宏
 川喜多健二・河北 浩・川口 薫
 河口洋輝・河崎 崇・川瀬啓子
 川瀬 忍・川瀬 順・川瀬玲子
 川手由里子・川西 研・河野奈穂子
 河野一郎・河野重男・川野秀敏
 川之辺繁・川延智英・河野友紀
 川村 章・河村俊宏・河村 誠
 川村光子・川村亮輔・河本浩一
 川本 透・河本洋子・菅 英雅
 神戸和男・神戸洋一・菊池純夫
 菊地英之・菊地保幸・菊地良一
 岸 郁夫・木島武俊・岸 隆一郎
 北川 輝・北川洋子・木田哲朗
 北村和美・北村 武・吉川朋子
 橘川 聡・鬼頭 靖・木藤隆清
 城所秀樹・木下真志・木下美音子
 木下恵美子・木船 剛・君塚郁夫
 木村香央里・木村恵子・木村修司
 木村 奨・木村 孝・木村知恵子
 木村 貢・木村陽一郎・桐井 実
 日下雄介・草柳智徳・管 知也
 工藤恵理子・工藤陽子・國方美沙子
 国安伸一・窪田真行・窪田光慶
 久保憲子・熊井茂樹・熊谷美波
 熊澤信也・熊野谿寛・糸 百合子
 倉川良樹・黒岩 健・黒川明子
 黒川不二子・黒川裕介・黒澤はるか
 黒須秀昭・黒田喜二郎・黒田高弘
 桑原一茂・毛馬内道夫・小池春子
 小池彬雄・小池健一・小池俊介
 小泉江都子・小泉光一郎・小泉正義
 小出武男・幸加木茂夫・甲賀ひろみ
 神前英里奈・合田理佐子・合田遼太郎
 郡 政樹・郡山秀子・國分圭子
 國分義郎・木暮欣正・小暮隆司
 木暮晴美・腰越 明・小柴裕太郎
 小島かつ枝・小嶋恵子・小島里美
 小島弘樹・小島 恂・小城哲治
 小城 花・小菅徳男・小谷美穂子
 小谷美和・兒玉達樹・後藤康太
 後藤直徳・後藤信夫・後藤信親
 小西信行・小西美子・小畑幸子
 小林大介・小林 篤・小林貫太郎
 小林健治・小林春代・小林弘之
 小林美佐子・小林 裕・小林由美子
 小林洋一・小林要平・駒田朋秀
 小松孝義・小松摩衣子・駒場義貴
 小峯伸一・五味陸明・五味陸仁
 小宮秀朗・小室政次・小屋 敷
 侑 太郎・小柳篤史・小柳隆史
 小柳裕子・小山隆史・小山泰子
 小山良昭・金剛寺 謙・近藤昭子
 近藤厚子・近藤一朗・近藤 謙
 近藤 隆・近藤正隆・近藤道子
 近内俊介・雑賀壽和・雑賀 陸
 斉木 修・斉木翔平・斎藤良典
 斎藤亜美・斎藤和馬・斎藤 駿
 斎藤寛平・斎藤晃一・斎藤 俊
 斎藤章二・斎藤好治・斎藤 隆
 斎藤千代・サイトウボ・斎藤福雄
 斎藤まり江・斎藤 充・斎藤満磯
 齋藤宗三・財部實禧・佐伯佳奈子
 三枝孝榮・酒井晋三郎・酒井康光
 酒井 亮・神原康之・坂田和哉
 坂田泰治・坂田瑞宜・坂野泰央
 坂巻幸宣・坂村昭彦・坂元久美子
 坂本義次・中山寛史・佐久間貴毅
 佐久間信治・佐久山 洋・桜井育子
 櫻井貴裕・笹生典寿・佐々木弘男
 佐々木健・佐々木貫行・佐々木利明
 佐々木敏子・佐々木豊春・佐々木 浩
 佐々木昌巳・佐々木真沙代・笹原敏浩
 佐藤達郎・佐藤彰雄・佐藤昭範
 佐藤栄子・佐藤和子・佐藤克巳
 佐藤公俊・佐藤京子・佐藤真一
 佐藤 忠・佐藤允子・佐藤 努
 佐藤治子・佐藤史明・佐藤 允
 佐藤 亮・佐藤美奈子・佐藤美保
 佐藤裕子・里見敦子・佐取 徹
 眞田有快・佐藤昭範・佐野和子
 佐野達頼・サヨリ由紀子・澤内由紀子
 澤田 研・澤田康斗・澤村明男
 澤村有希・三谷久也・塩入義和
 塩賀 宏・塩沢幸一・塩路直樹
 塩路 文・志賀祐史・重松菜月
 治田則男・實方一元・實方晴通
 篠塚正博・篠塚裕子・柴田 豪
 柴田紘一・柴田功史朗・柴田志野
 柴田小陽・柴山泰亮・柴山一樹
 柴山香奈・渋谷勝美・清水 暢
 清水 暁・清水有生・清水 研
 清水孝次・清水直哉・清水春行
 清水雅紀・清水正博・志水裕介
 下澤彩香・下澤晴子・霜鳥竜太
 下 直樹・下山宏美・淑 人
 常盤敬之・白井智子・白石孝誼
 白浜 浩・秦 和之・新開陽一
 神 英幹・真保 顕・神保佳奈

神保庸二・新屋忠男・末永裕二
 菅沼芳昭・菅原一朗・杉崎一雄
 杉谷 彰・杉原正哉・杉村和則
 杉村由喜・杉本 敬・杉山恵一
 杉山浩一・杉山功治・鈴木明子
 鈴木珠美・鈴木一彦・鈴木和彦
 鈴木克彦・鈴木啓二朗・鈴木健次
 鈴木賢治・鈴木浩二・鈴木沙弥
 鈴木重義・鈴木 滋・鈴木 純
 鈴木 隆・鈴木千尋・鈴木 努
 鈴木哲夫・鈴木利健・鈴木智洋
 鈴木直人・鈴木伸子・鈴木秀博
 鈴木秀行・鈴木啓文・鈴木裕巳
 鈴木文雄・鈴木真紀子・鈴木雅子
 鈴木正純・鈴木政人・鈴木政徳
 鈴木雅弘・鈴木正道・鈴木美智子
 鈴木康男・鈴木靖彦・鈴木陽子
 鈴木吉英・須藤武美・須藤裕雄
 砂川仁良・盛 清美・清 元秀
 瀬岡哲也・関岡直樹・関川順一郎
 関川正博・関口 治・関島 勝
 関 潤・関 祥平・関田俊明
 関根善二郎・関根 徹・関根徳男
 関野有司・瀬島桃子・仙波多巳恵
 仙波安雄・相馬弘二・曾我部隆
 空本善孝・當間浩昭・平良弘之
 田尾 登・田尾みずほ・高尾 梓
 高尾 光・高尾 信・高木 透
 高木能正・高木晴久・高木儀昌
 高倉 香・高島多香子・高島忠夫
 高島常康・高嶋 浩・高島義治
 清水水真二・高瀬幸信・高田和男
 高田耕太郎・高田光正・高田 充
 高梨由佳里・高橋一壽・高橋 傑

高橋 栄・高橋重人・高橋信一朗
 高橋慎司・高橋直己・高橋博樹
 高橋洋匡・高橋文夫・高橋 誠
 高橋正樹・高橋稔和・高橋靖明
 高橋康造・高橋恭彦・高橋保文
 高平正行・高松利寛・高村千晃
 高山善四郎・田川 剛・武居公子
 武市尚友・武市 信・武市黎明
 竹井文昭・竹内 均・竹口華枝
 竹田恵子・武田圭司・武田繁幸
 武田大智・竹田智子・武田成史
 武田博之・竹間由泰・武村清人
 武村知子・竹本弘子・田島広子
 田島光英・田代雅也・田代 靖
 多田直樹・立川元彦・辰元 凜
 館内祐樹・伊達美絵・伊達靖子
 田中秋乃・田中明彦・田中和彦
 田中耕一・田中定行・田中茂樹
 田中淳一・田中順治・田中多江子
 田中高広・田中隆之・田中哲夫
 田中照久・田中敏郎・田中呂欣
 田中夏樹・田中 宏・田中雅人
 田中道夫・田中道子・田中美帆
 田中妙子・田中 盛・田中康雄
 田中優希・田中雄大・田中友紀子
 田中義教・田中四良・田辺健太郎
 田邊 眞・田辺直子・田辺真奈
 田辺真理・谷川史郎・谷口眞仁
 谷本正敏・田島久義・田端恭蔵
 田原弘一・玉虫秀一・田村隆敏
 田村典正・田村舞里菜・千種美好
 千種浩司・千葉重夫・塚原 仁
 辻 彰彦・辻 明美・辻 杏奈
 辻 麻莉奈・辻 花奈・辻 孝司

辻 秀憲・辻 好樹・津田小百合
 津田悠子・土本章夫・土屋晃成
 土谷阿佐・土谷敦利・土屋 浩
 土屋牧雄・土屋眞理子・筒井 豊
 常松忠宏・椿有紀彦・圓谷真人
 圓谷亮太・津村省浩・露木 豪
 鶴岡 仁・鶴岡はるみ・鶴田 順
 鶴田隆亮・鶴野剛士・寺島太志
 寺田 友・出羽 仁・出羽弥生
 天島カルナ・天島紗良・戸井田能郎
 東郷和彦・同窓会・堂領登美子
 遠山和子・徳永篤郎・徳光江美
 土志田正子・戸田淳一・栃澤かおり
 戸塚 仁・戸畑秀夫・富田和史
 富田起代子・富田靖子・富田良男
 富田洋子・富永麻由子・富山 幹
 友田義輔・友野三平・友野庄平
 友野宏子・友野亮平・富山英輔
 豊嶋 毅・豊竹正幸・豊田哲野
 豊村信夫・内藤知彦・内海藤夫
 内藤喜嗣・中居理人・永井礼正
 永井公夫・中泉清和・長井正明
 永井洋佑・長岡文子・長尾伸昭
 長尾久嗣・中川貴義・中河原裕子
 永島 謙・永島隆子・中嶋孝宏
 長嶋敏幸・中嶋正好・中島みさ子
 長瀬輝行・長田泰一・永田健夫
 長田宣久・長田佑子・中塚善之
 中塚千恵子・中津原平美・中西尚志
 中西健次郎・中西悠人・中西朗人
 永沼誠司・永納俊一・長野 正
 長野千尋・永野幹晴・中鉢順平
 中林三平・永原真弓・中部謙一郎
 永堀通男・永松朋深・長峯芳子

長峯璃果・中村あい子・中村絵里子
 中村 健・仲村 顕・中村健一
 中村 公・中村 新・中村忠男
 中村 天・中村まり・中村美恵
 仲本正夫・中山昭信・中山伸一
 中山 卓・中山真紀子・中山優子
 中山友香子・中山義章・中山好子
 永吉寛行・梨本加菜・並木友香
 滑川千賀子・成田哲郎・成田智信
 成田 亮・成房悦子・成瀬紘一
 成勢敏彦・成海弘樹・縄嶋周治
 南田美加・新倉賀奈・新倉達也
 新野竜一・新村 稔・西垣 徹
 西片和男・西久保勝・西倉秀樹
 西澤公彦・西田容子・西 主税
 西塚 至・西野雅雄・西村麻子
 西村 潔・新田加奈子・新田貴代
 根本勇司・野口ひろみ・野口る美
 野崎杏奈・野崎健斗・野澤直樹
 野田 悟・野田孝充・野村岳史
 乗金祐子・萩原さんご・羽毛田裕
 橋田とも子・橋田嘉紀・橋本 輝
 橋本 崇・橋本義弘・橋本和人
 端山教一・羽角友春・長谷川雄白
 長谷川麻彌・長谷川徳之・長谷川浩子
 長谷川元保・畑 信良・秦 浩一
 畑園馨事齋・畑島敏彦・服部基樹
 服部瑛一・服部隆二・馬場甲子男
 馬場義博・羽太 透・浜口岳久
 浜越直巳・濱田浩次・濱野文一
 浜村俊一郎・早坂 淳・林 愛三
 林 倫仁・林 國彦・林 瑚太郎
 林 昌吾・林 美和・葉山淑人
 葉山新一・端山 晃・原 力哉

原 公泰・原田尋生・原田ゆう子
 原 俊昭・原 信之・春木美和
 春木尊裕・春山顕児・東野紘一郎
 東山 健・疋田光徳・疋田博史
 樋口秀之・樋口真弘・樋口 弓
 久家貴子・久野山路・久村素弘
 久本道之・日臺芳子・姫野貴美子
 日向一郎・日向野弘・平井真紀夫
 平岩国泰・平岩良允・平岡太郎
 平田篤男・平田 茂・平田 淳
 平塚守人・平野公久・平野昭正
 平野哲章・平野光紗・平林浩司
 平山高司・廣川菜々・廣川勝子
 廣川美津子・廣瀬 愛・廣瀬 繁
 廣瀬隆夫・廣瀬 優・廣田誠也
 広浜哲哉・ヨリシメ・マシ多麻里子
 府川聖美・布木 明・福井健司
 福島信夫・福代拓哉・福田孝政
 福田泰幸・福地美沙子・福富暢行
 福宿和彦・藤井和之・藤岡貞彦
 藤川英一・藤沢純郎・藤嶋秀之
 藤田さつき・藤田浩之・藤田大輔
 藤野和夫・ふじ乃寿司・藤野忠彦
 藤村泰一・藤村謙一郎・藤本勝代
 藤本剛史・藤本裕之・藤本眞知子
 藤山尚子・二見裕子・布戸倭介
 太期昭文・船坂孝志・古尾谷信治
 古川昌博・古川深志・古木振一
 古田優子・古田土明・古田俊夫
 古寺文彦・古橋弘行・別府諸兄
 別府倫兄・芳吉治義・北條 暁
 星川暁子・星川明璃・星谷美吏
 星谷雄太・星野芳秀・星野公子
 星野功司・細川嘉文・細谷ヤチ子

堀田知佳・堀田鉄男・堀井義一
堀内克彦・堀江耕太郎・堀岡忠重
堀岡政昭・堀口 昭・堀 司
堀 祐介・本郷宏一・本郷 了
本多通宏・前川貴宏・前川 出
前川 力・前嶋 清・前田晃美
横 薫・蒔田哲也・正木丞司
政田眞一・増子由美子・増井芭美
増田和彦・増田豪介・増田浩平
益田 純・舛田博之・増田弥恵
増田陽子・町田昌子・松井友里
松井達志・松井 謙・松井 晃
松井良子・松浦 章・松浦 収
松浦雄介・松岡厚子・松尾博章
松尾友子・松笠節夫・松田博之
松澤光洋・松下俊雅・松下マリ子
松田曉史・松田聡美・松田直也
松野雅幸・松橋正三・松原玲奈
松村玲子・松本里恵・松本桂子
松本三津子・松本秀一・松本英昭
松本修治・間宮秀樹・間宮政信
丸田哲也・丸山秀司・丸山 立
丸山 亨・丸山直樹・三浦 勇
三浦 浩・三上順子・三上秀明
美河正浩・三島啓輔・三嶋史人
三島悠輔・水落かずみ・水越 靖
水島雅英・水野久世・水野浩和
三谷長秀・三谷久也・三田村欣彦
三田村一広・三觜泰子・三ツ間栄次
光山晶子・光山泰臣・皆川邦直
南川 明・南 文夫・峰岸祥子
峰岸正信・蓑 豊・蓑島哲夫
箕輪ゆか・宮川淳一・宮川 毅
宮川哲弥・宮川智幸・三宅川崇

三宅裕之・宮崎仁美・宮崎祐誠
宮津大輔・宮村節子・宮本靖規
宮本太郎・宮本弥生・三好 泉
向井 勲・向井千晶・武藤守慶
宗岡秀樹・村岡静枝・村越洋幸
村田文夫・村山 靖・室 孝
室井浩通・毛利一幸・茂木信佑
本橋照夫・本村ひとみ・森 望
森川 慶・森川紀宏・森島恵治
森田恭弘・森田俊一・森田智恵子
森 千恵子・森 尚武・森 葉子
森本晃平・森山大二・森山 翠
柳下誠一・薬師寺春光・矢後正子
矢澤一良・安井宗春・保岡弘之
安澤則子・保田澄子・保多 洋
保田浩正・安田義治・矢田豊子
谷中史弘・柳川日向子・梁川 亮
柳沢勇一郎・柳田敏雄・柳沼善広
矢野りさ・矢萩照男・矢部和也
矢部洋三・山浦真一・山形俊樹
山岸 大・山岸成昭・山口綾子
山口 歆三・山口恵三・山口智之
山口正孝・山口正隆・山口真澄
山口元子・山口雄一郎・山口祐理子
山口吉英・山崎裕香・山崎京介
山崎仁子・山下喜久枝・山下英一
山下夏実・山下 恵・山室宗光
山科章子・山田 柎・山田明彦
山田剛資・山田俊平・山田麻実
山田美奈都・山田峰彦・山田涼子
山田治子・山中清志・山中昭司
山中陽光・山根 保・山根 格
山野 潤・山道達郎・山村淳一
山村拓未・山室佐知子・山室俊郎

山室千花子・山本武史・山本克美
山本邦生・山本賢二・山本宏一
山本集也・山本高雄・山本千春
山本照雄・山本富美江・山本眞理子
山本康雄・山分 純・横井研一
横井容子・横田信一・横田東平
横田二葉・横山一郎・横山泰介
横山満徳・吉井 益・吉岡真利子
吉岡美和・吉川謙太郎・吉川忠興
吉川裕貴・吉瀬右子・吉田彩希
吉田一子・吉田 聖・吉田清人
吉田 淳・吉田新一・吉田清純
吉田大輔・吉田典夫・吉田英靖
吉田 誠・吉田昌弘・吉田稔彦
吉田洋一・吉野俊明・吉原里衣
吉原 哲・依田知美・米田迅成
米田洋次郎・米村太刀夫・蓬田康太郎
龍瀧憲治・リンダ・リンダ・六本木千尋
若松秀一・脇すみれ・脇 博宣
涌井達雄・渡井文江・渡井幸男
和田大輔・和田 徹・渡辺篤哉
渡辺 衿・渡辺和彦・渡辺啓子
渡邊隆史・渡辺浩志・渡辺雅代
渡部保日兒・和田みゆき・和田洋一
久津間製粉(株)・Ken 歯科・湘南学園PTA
(株)タカシヨ(株)丸定



◆ 団 体

学園祭同窓会募金・学園祭PTA
A募金・キルトチーム・小中高
合同クラス会・チーム湘南学
園・中高7回生有志・PTA有
志・平塚湘友会・平成22〜25評
議員有志・平成24年度五年学年
会・平成25年度高三学年費・平
成25年度中1A

◆ 法 人

明石被服興業(株)・(株)朝日
工業社(株)アルファ映像(株)
一幸堂(株)江ノ電バス(有)
おおさと(株)屋外体育(株)
学術企画(株)神奈川孔文社
(有)キタジマススポーツ・近畿
日本ツーリスト(株)湘南教育
旅行支店・公安警備保障(株)
(株)こどもとも横浜営業所
湖南造園(株)・(株)さんこう
どう(有)サン写真スタジオ
(株)サンユー(株)シービー
エス(株)ジャクエツ(株)
湘学(株)湘南インシユアラ
ンス・総合警備保障(株)・(株)
総合写真・総合商事(株)・(株)
相馬屋(株)大春工務店(株)
田中保険事務所(株)ティ
アンドワイズズキ・東京私鉄広
告(株)・トップツア(株)
横浜支店(有)豊元書店・日
欧事務機(株)・(株)ノトス
ライブ(株)バイニイ(株)

バレクセル(株)日立システ
ムズ・フジゼロックス神奈川
(株)・(株)富士通ワイエフシー
(株)フジマニ(株)富士屋(株)
文祥堂(株)文盛堂(株)横
浜銀行・理想科学工業(株)

重ねてではございますが、ご
寄付を賜りました方々に、心か
ら感謝申し上げます。80周年記
念館内に設置いたします銘板
に、御芳名を記載し、末永く顕
彰させて頂きます。

今後も湘南学園は見学の精神
に則り、個性豊かな人間の育成
を目指し、社会に役立つ朗明有
為な人間の育成に貢献いたしま
す。

これからも湘南学園への一層
のご支援とご協力を賜りますよ
う宜しくお願い申し上げます。



《学校法人から》

【理事会報告】

これまでに、次の理事会を開催いたしましたので、ご報告いたします。

- 第1回定例理事会 4月12日
- 第1回臨時理事会 4月25日
- 第2回臨時理事会 5月14日
- 第1回常任理事会 5月17日
- 第2回定例理事会 5月31日
- 第3回臨時理事会 6月6日
- 第3回定例理事会 6月28日
- 第4回定例理事会 7月12日

【主要な議題】

- ・理事長の選任について
- ・副理事長の選任について
- ・監事候補者の選出について
- ・常務理事の選任について
- ・理事長・副理事長を代行する理事の指名及び代行順位について
- ・理事会の業務担当部会の発足及び担当理事の任命について
- ・私学共済事業団からの借入金に係る連帯保証人の変更について
- ・平成25年度神奈川県私立中高協会の負担金等の支払いについて



- ・企業財産包括保険（火災保険等）への加入について
- ・電波障害設備の一括撤去について
- ・中高普通教室棟の教壇入れ替えについて
- ・高校教育課程の改訂に伴う学則の変更
- ・小学校アフタースクールについて
- ・中高カフェテリアについて
- ・スポーツ振興センター災害共済給付掛金の支払いについて
- ・中高屋上テニスコート見積参加業者の選定について
- ・小学校学則変更について
- ・平成25年度事業報告について
- ・平成25年度決算報告について
- ・「湘南学園教育充実資金」の実績について
- ・小学校隔週5日制・幼稚園保育5日制への移行について
- ・幼稚園改修工事にかかる年長組ロッカーの入替えについて
- ・中高屋上テニスコート改修工事業者の決定について
- ・子ども・子育て支援新制度開始に伴う移行調査への対応について
- ・カフェテリアから小学校へのお弁当配食について
- ・平成26年度私立学校検査について
- ・平成27年度版中学校高等学校

の学校案内制作費の支払いについて

- ・空調室内機と全熱交換器の洗浄にかかる業者決定について
- ・幼稚園門更新にかかる工事業者の決定について
- ・幼稚園年長組改修工事仕様書と見積参加業者の選定について
- ・幼稚園年長組等改修工事業者の決定について
- ・遺贈による寄付制度について

【評議員会報告】

これまでに開催された、評議員会について、ご報告いたします。

- 第1回評議員会 4月12日
- 第2回評議員会 5月31日

【主要な議題】

- ・理事の選任について
- ・監事の選任について
- ・平成25年度事業報告について
- ・平成25年度決算報告について
- ・平成26年度役員選任について
- ・創立80周年記念「松ぼっくり募金」最終報告について
- ・「湘南学園教育充実資金」実績報告について

